
ゴブリン狩りに竜殺しは必要ない

青海 景都

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「ゴブリン狩りに竜殺しは必要ない

【Zコード】

Z8524Z

【作者名】

青海 景都

【あらすじ】

あらゆる魔を統べる魔王に万物の頂点たるドラゴン。それらは確かに存在はする訳だが、その被害は大昔ならともかく、ここ最近においては極めて少ないので、ひきこもりの魔王に人間に興味のないドラゴン、何を恐れる理由があろうか？今、人類に最も危害を加えているのは、1匹いれば100匹いるはずと言われる爆発的繁殖力にどんな劣悪な環境でも暮らせる圧倒的適応力、そして、まあまあの知性を持つ『ゴブリン』。そう、この戦いは日々の生活を守る戦いであり、そこに一騎当千の英雄は必要ないのである。

「魔物といえば？」

そう聞かれると何を思い浮かべるだろう？

魔王を思い浮かべたキミは考古学者か吟遊詩人でもやつてるのかい？

そうでなければ、現実を見よう。魔王が人類を齋かすなんてフイクションド。

あの引きこもりにそんな甲斐性は無い。

ドラゴンを思い浮かべたキミは夢見がち。

ドラゴンは人間に興味が無い。つまり、普通は人を襲わない。竜殺しの英雄は出番が無い。

スライムを思い浮かべたキミ・・・實に惜しい。人類を齋かすところでは中々にメジャーだ。

だが同時に、暗くてジメジメしたところが主な生息地であるスライムが真っ先に出てくるというキミが心配だ。奴等は魔物の中でも相当グロテスクな部類である。

まあ、人それぞれに答えがあるのだから、そこは自由である。

だが、普通はこの世界でまず思い浮かぶのは、

であるはずだ。

遭遇率、被害数、討伐数、どの数字を採つても人類の最大の敵といえる魔物である。ゴブリンは初級者の練習相手とか侮つてはいけない。奴等は圧倒的数の暴力と僅かだが知恵を用いて人類を常に脅かしている。それについて、本書を手にとつてくれた読者のキミは十分に理解してくれている筈です。

本書はこれからゴブリンを狩り始める方だけではなく、上級者の方にも効果的な基礎から応用までの徹底的にサポートを目的としています。

『対ゴブリン戦術論・入門編』はじめがき

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8524z/>

ゴブリン狩りに竜殺しは必要ない

2011年12月26日22時56分発行